

ヴァイオリンの女神と
オーケストラが紡ぐ、
愛と情熱
ひと夏の恋に落ちる

ロドリゴ(川井郁子編曲):
恋のアランフェス
～レッド・ヴァイオリン～

モンティ:
チャールダーシュ

ピアソラ:
リベルタンゴ

ビョルンド:
エル・チョコロ

川井郁子:
赤い月

ピアソラ:
オブリビオン

カルロス・ガルデル:
ポール・ウナ・カペーサ

クライスラー:
愛の喜び ほか

[指揮] 太田 弦

[ヴァイオリン] 川井郁子

[オーケストラ] 大阪交響楽団

[司会] 羽川英樹

© Shintaro Shiratori / Sony Music Labels, Inc.

Light Symphonic
Concert



2019

8.24(土) 14:00開演 (13:00開場) ザ・シンフォニーホール S席 5,400円 A席 4,320円(税込)

ご予約・お問い合わせ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333(10:00~18:00 火曜定休)
<http://www.symphonyhall.jp>

一般発売: 2019年3月24日(日) 10:00~ [Sinfonia会員先行 3月21日(木・祝) 10:00~]

プレイガイド ■大阪交響楽団 072-226-5522(平日10:00~17:00) <http://sym.jp>

■チケットぴあ 0570-02-9999[Pコード: 143-817] ■e+(イープラス) <http://eplus.jp/symphonyhall/>(パソコン・携帯)

■ローソンチケット 0570-084-005[Lコード: 51772] 0570-000-407(オペレーター対応 10:00~20:00)

*未就学児のご入場は御遠慮いただいております。

*やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が

変更になる場合がございます。予めご了承ください。

主催:ザ・シンフォニーホール/公益社団法人大阪交響楽団

川井郁子 ライト・シンフォニックコンサート —— 大人の贅沢 ——

大人の耳と心を優雅でノスタルジックな名曲で魅了する。そんなコンセプトで2017年から始まった「ライト・シンフォニックコンサート」が、この夏開催決定。出演は、今年2月の「シンフォニック バレンタインコンサート」でも大喝采を浴びたヴァイオリニストの川井郁子。「大人の贅沢」をテーマとするこのシリーズだが、今回は、“より大人”に向けた愛の名曲をお届けする。演目は、ロドリゴ「恋のアランフェス」、モンティ「チャールダーシュ」、ピアソラ「リベルタンゴ」など。さらに彼女の自作曲で、照らされる光で姿を変える月を女性に見立てた「赤い月」も選ばれ、情熱的な愛の調べを歌い上げる。大阪交響楽団を指揮するのは、今年4月から同響の指揮者に就任する注目の若手・太田弦。また、人気アナウンサーの羽川英樹が司会を務めることもあり、まさにあらゆる“大人”が等しく楽しめる“贅沢”な公演になることだろう!!

文 渡辺謙太郎



川井郁子 [ヴァイオリニスト / 作曲家] Ikuko Kawai, Violin

香川県出身。東京藝術大学卒業。同大学院修了。現在、大阪芸術大学(演奏学科)教授。

国内外の主要オーケストラをはじめ、指揮者チョン・ミョンフンや、テノール歌手ホセ・カレーラスなどの世界的音楽家たちと共演。またジャンルを超えて、ポップス系アーティストや、バレエ・ダンサーのファルフルジマトフ、熊川哲也、フィギュアスケートの荒川静香らとも共演。2008年ニューヨークのカーネギーホール公演にてアメリカデビュー。2013年映画「北のカナリアたち」で第36回日本アカデミー賞・最優秀音楽賞を受賞。デビュー15周年、使用楽器ストラディヴァリウスが300年を迎えた2015年には、バリ・オペラ座公演を成功させ、国内外を問わず、精力的に活動している。

また、社会的活動として「川井郁子 Mother Hand 基金」を設立。全日本社寺観光連盟親善大使を務める。使用楽器:ストラディヴァリウス(1715年製作、大阪芸術大学所蔵)

太田 弦 [指揮] Gen Ohta, conductor

1994年北海道札幌市に生まれる。幼少の頃より、チェロ、ピアノを学ぶ。

東京芸術大学音楽学部指揮科を首席で卒業。学内にて安宅賞、同声会賞、若杉弘メモリアル基金賞を受賞。同大学院音楽研究科指揮専攻修士課程を修了。2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で2位ならびに聴衆賞を受賞。

これまでに指揮を尾高忠明、高関健の両氏、作曲を二橋潤一氏に師事。山田和樹、ハーヴォ・ヤルヴィ等各氏のレッスンを受講する。2019年4月より大阪交響楽団正指揮者に就任予定。



大阪交響楽団 Osaka Symphony Orchestra

1980年創立。永久名誉楽団代表・数島博子が「聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!」を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。2018年11月に公益社団法人となった。2015年4月には二宮光由が楽団長・インテンダントに就任。さらに2016年4月からは、日本楽壇最長老の外山雄三がミュージック・アドバイザーに就任。2019年4月からは新たに太田弦(2015年、第17回東京国際音楽コンクール(指揮)で第2位ならびに聴衆賞を受賞)が正指揮者に就任し、さらなる楽団の飛躍が期待されている。楽団公式ホームページ <http://sym.jp>



羽川英樹 [フリーアナウンサー] Hideki Hagawa

1953年京都市生まれ。同志社大学を卒業後、読売テレビにアナウンサーとして入社。「11PM」「2時のワイドショー」などの全国ネット番組を担当。1993年にフリーに。現在は関西を中心にテレビ・ラジオをはじめ講演活動も精力的にこなす。学生時代から20年に渡って合唱団で指揮者を務めた経験を活かし、音楽イベントの企画やナビゲートも数多く手がける。また自らもフォーク・デュオを結成し、各地で演奏活動も行っている。

